

さつきやま魂

崎山中学校だより
3月24日 第22号
文責 校長 山下



今年度一年間、御支援・御協力ありがとうございました

令和2年度の修了式を行い、1・2年生全員に修了証を渡しました。昨年の今頃は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、臨時休業中の修了式でした。あれから一年、あっという間に過ぎたように思います。コロナ禍で、いろいろな活動等において、規模縮小を余儀なくされましたが、可能な限りの学校行事等を実施できましたことはよかったです。保護者の皆様には、子どもたちの学習状況や体調等、御心配をおかけしましたが、今年度一年間の御支援・御協力に心から感謝申し上げます。

今日の修了式では、1年生代表の横山愛さんと2年生代表の長谷川琴美さんが、今年度の反省と新年度に向けての決意を立派に発表しました。私からは、次のような話をしました。

「3学期の始業式の日、『画竜点睛』『仕上げが肝心』という話をしました。・・・確かな成長を自覚することはできたでしょうか。・・・1年生、家庭学習の習慣が身に付いたことが一番の成長だと思えます。・・・2年生、先日の計算テストでの全員満点など、ここぞという時の集団としてのまとまりの力が身に付きました。このように、どの学年も随所に主体的な行動が見られるようになり、課題であったさつきやま魂の「自主・進んで挨拶し、行動する魂」が着実に育っていることを嬉しく思います。みなさんはこれからの社会を創っていく主役です。これからの時代は、様々な予期せぬことがあり、自分で考えて課題を解決していかなければなりません。・・・つまり、さつきやま魂「自主、友愛、錬磨、勤労」の力がますます必要になります。コロナ禍で、ピンチをチャンスにして成長した皆さんであれば、さらに自分自身を成長させることができると思います。」



卒業証書授与式から

3月16日、第17回(第74回)卒業証書授与式を挙行しました。感染症拡大防止のため、御来賓3名(PTA長谷川会長、崎山小川崎校長、村上元校長)と保護者の皆様の御臨席を賜り、規模を縮小して行いました。1月の感染拡大で心配しましたが、卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡すことができた本当に嬉しく思いました。

当日は、在校生代表の小幡一路君が、先輩方との思い出を語りながら、心にしみる送辞を行いました。また、卒業生代表の境脇愛十君は、中学校生活を振り返りながら、ふるさと崎山への思いや保護者、先生、後輩、そして仲間への感謝の気持ちを一生懸命伝えました。最後は、合唱祭での自由曲「正解」の歌詞、「制限時間はあなたのこれからの人生・・・よいい はじめ」で締めくくり、参加した全員の心にジーンとくるすばらしい答辞でした。さらに、卒業生が作詞した「だからもの」の合唱など、一生の思い出に残る感動的な卒業式となりました。

最後の学活では、子どもたちからの感謝の声をたくさん聞くことができました。保護者の皆様はもちろんです、関係する全ての皆様へ感謝申し上げます。



< 玄関での見送り風景 >

お世話になりました

令和3年度の教職員人事異動が発せられ、昨年度に引き続き、崎山中学校からは6名の先生方が転出することになりました。在勤中は、崎山の子どもの成長を願い、一生懸命に指導・支援していただきました。ありがとうございました。転出される先生方です。

- 片山重夫教頭先生(2年勤務)
- 奥浦中へ
- 松岡孝之先生(1年勤務)
- 再任用で玉之浦中へ
- 山上美穂先生(6年勤務)
- 玉之浦中へ
- 峯美奈先生(5年勤務)
- 長与町立高田中へ
- 窄英代先生(3年勤務)
- 大村市立大村中へ
- 竹末明学先生(3年勤務)
- 大村市立福重小へ

【一期一会】

1年生の横山愛さんが、大村市立大村中学校へ転校することになりました。小学校4年生からの4年間、一緒に勉強や部活動に励んできました。寂しくなりますが、崎山での仲間との出会い、そして大村での新たな出会いを大切に、頑張ってくださいと思います。横山愛さん、そして転出される先生方の御健康と御多幸を心から祈ります。